

応急手当

災害が発生したときは、まず身の安全の確保に努め、火災等の二次災害を防ぐことが最も大切なことです。万一、負傷してしまったら、または負傷した人に出会ったら応急手当を実施し、周囲の人と協力し合い、病院や救護所への搬送手段を講じましょう。

応急手当は、日ごろから練習しておき、しっかり身に付けておきましょう。

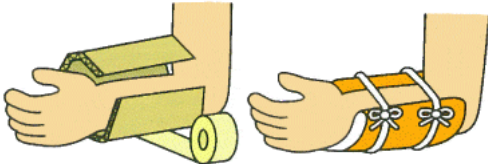
●おぼえておこう応急手当

骨折の時の手当て

- 傷があるときはまずその手当てをします。骨折部に副木をあて、副木が動かないようにし、骨折部の両側の関節も固定します。
- 骨折した時にちょうどよい副木があるとは限りません。身のまわりで利用できるものを見つけておきましょう。

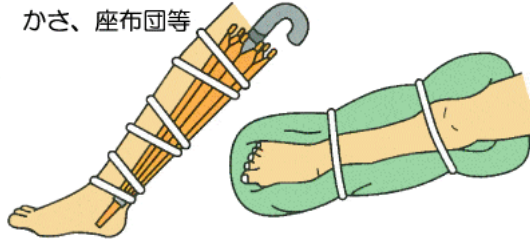
■腕の骨折

ダンボール、雑誌等



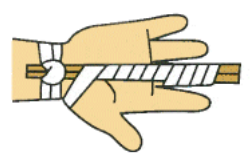
■足の骨折

かさ、座布団等



■指の骨折

割りばし等



ガラス片等が刺さったとき

- むりに抜かないで、動かないように固定する。



止血法

直接圧迫止血法

- 出血しているところに直接ハンカチやガーゼ等を当て、手や包帯等で強く圧迫します。



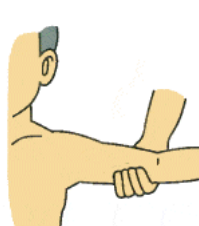
関節圧迫止血法

- 脈の触れるところを強く圧迫し、その部位より先の血流を遮断します。

■手の出血



■前腕の出血



■上腕の出血



■足の出血

